

第11回 千曲市林業振興協議会

平成25年12月24日（火）

13時30分～16時00分

上山田庁舎302会議室

第 1 1 回千曲市林業振興協議会

千曲市林業振興協議会出席委員

長野森林組合	更埴支所長	春日	賢一
NPO法人 千曲の森	理事長	唐澤	伊和男
区長会連合会更埴支部	生萱区長	相澤	正秀
〃 戸倉支部	羽尾第4区長	塚田	敦志
若宮、羽尾、須坂、上徳間、	内川、千本柳財産区		
	議長	塚田	勝壽
ちくま農業協同組合	営農経済部長	宮坂	直隆
鳥獣保護委員	鳥獣保護委員	山崎	文典
長野地方事務所	林務課長	宮崎	広雄
千曲市環境市民会議	運営委員	神尾	雄二
千曲市建設業協会	理事	本保	雅規
みどりの少年団育成会	更級小学校長	山崎	一男
一般公募		唐木	恵美子
一般公募		小林	正昭
一般公募		柳澤	信子

欠席委員

区長会連合会上山田支部	八坂自治会長	鹿田	龍太郎
一般公募		小松	たつ子

出席職員

長野地方事務所林務課	林産係長	尾崎	伸行
	森林保護専門員	中山	智明
千曲市	千曲市長	岡田	昭雄
	経済部長	平林	昌男
	農林課長	長浦	一喜
	森林整備係長	宮尾	憲夫
	森林整備係	橋立	慎太郎
	〃	五十嵐	健二

《会議の経過》

平林部長 定刻となりましたので、これより第11回千曲市林業振興協議会を開催いたします。

 師走のお忙しい時期の開催となりましたが、委員の皆様にはお集まりいただきありがとうございます。

 私は、しばらくの間進行を務めさせていただきます、経済部長の平林と申します。よろしく願いいたします。

 それでは、次第に従いまして進めさせていただきます。

 まず初めに、岡田市長よりあいさつを申し上げます。

岡田市長 本日は、年末の何かとお忙しい中ご出席を賜りまして、誠にありがとうございます。

 またこの度は、林業振興協議会の委員を快くお引き受けいただいたことに、心より感謝申し上げますとともに、林業の振興発展のため、引き続きお力添えを賜りますよう、心よりお願い申し上げる次第でございます。

 千曲市の森林は、市の総面積の約6割を占め、防災面などで大きな役割を果たしているだけでなく、里山の景観を形成し、市民や訪れる人々に安らぎを与える重要な役割を果たしております。

 しかしながら、林業の採算性の悪化や山村の高齢化に伴って、次第に山の手入れが行われなくなり、森林の持つ公益的機能の低下が懸念される昨今であります。

 このような中で、戦後植林された木が利用可能な状況になってきておりますので、国や県の補助金を活用しながら、適切な間伐等を実施し整備を進めていかなければならないと考えております。

 民有林につきましては、平成20年に導入され、本年度より新たに5年間延長されました「森林づくり県民税(森林税)」関連事業を積極的に取入れ、手入れの遅れている個人有林等の森林整備を、皆様のご協力を得ながら進めております。

 また、八幡・桑原地区を中心にNPO法人 千曲の森様が主体となって積極的に里山集約化事業をされている他、その他の地区では、長野森林組合様が主体となって、市との森林整備地域活動実施協定に基づく計画的な森林整備を進めていただいております。

 しかし一方で、シカやイノシシといった野生鳥獣の急激な増加や、昨年度からの松くい虫の被害の急増、また本年度はマイマイガによるカラマツの食害といった、新たな憂慮すべき問題も発生しており、早急な解決は非常に難しい状況であります。

 森林整備は、その結果が出るまでに長い歳月を要し、そうした意味でも、本日お集まりいただきました委員皆様のご協力のもとに、長期的展望に立った確かな方針により、貴重な森林を、健全な姿で次世代に引き継いでまいりたいと願っておりますので、今後とも皆様方のご理解ご協力を賜りながら千曲市の森林整備を進めていければと思います。

 本日は、会長、副会長の選任等大事な議案がありますが、ご協議のほど、よろしく願い申し上げます。

平林部長 ありがとうございました。

続きまして、本日は、委員改選が行われまして、初めての会議でございますので、初めての方もいらっしゃいますので、自己紹介をお願いいたします。

お手もとの資料に委員名簿を掲載しておりますのでご覧ください。

なお、千曲市区長会連合会上山田支部の鹿田龍太郎委員、公募の小松たつ子委員より欠席の連絡をいただいておりますのでご報告申し上げます。

はじめに春日委員さんから右回りにお願いいたします。

自己紹介 【委員 自己紹介】

平林部長 ありがとうございます。続きまして、長野地方事務所よりお2人のご出席をいただいておりますので、自己紹介をお願いします。

自己紹介 【長野地方事務所 自己紹介】

平林部長 ありがとうございます。続きまして、事務局より自己紹介をお願いします。

自己紹介 【事務局 自己紹介】

平林部長 ありがとうございます。

それでは、まず、会長、副会長の選任をしたいと思います。

千曲市林業振興協議会要綱第4条第1項で、会長、副会長は委員の互選によることになっておりますが、何かご意見等ございますか。

〇〇委員 前回においても会長を務められました、NPO法人千曲の森の唐澤委員もいらっしゃいますので、今期も引き続きお願いできればと思いますが、いかがでしょうか。

平林部長 〇〇委員より、会長を唐澤委員にということでございますが、他の委員の皆様よろしいでしょうか。

(全員拍手)

平林部長 皆様のご承認をいただきましたので、会長は、唐澤委員に決まりました。

続きまして、副会長の選任ですが、市としましては、男女協働参画の推進の観点からも、できれば女性の委員の中から、自薦や推薦していただければと思いますがいかがでしょうか。

〇〇委員 会長さんは〇〇在住ですので、地区が偏りすぎてもいけないと思いますので、唐木委員にお願いできればと思いますがいかがでしょうか。

平林部長 〇〇委員よりご推薦がありました、副会長に唐木委員ということでございますが、いかがでしょうか。

〇〇委員 男女平等ということからも、公平な審議ができるという意味でも、ぜひ女性のどなたから選任いただければと思います。

唐木委員 はじめて参加するので、どこまでお力になれるかわかりませんが、それでもよ

ろしいでしょうか。

平林部長 役割としては、会長の補佐ということですが、事務局も協力させていただきますので、お願いできればと思います。
皆様、唐木委員にお願いできればと思いますが、よろしいでしょうか。

(全員拍手)

平林部長 皆様の承認をいただきましたので、会長はNPO法人千曲の森理事長唐澤伊和男さん、副会長は公募委員の唐木恵美子さんをお願いをしたいと思います。唐澤会長、唐木副会長、前の席にご移動願います。
ここで新会長、副会長から一言ごあいさつをいただきたいと思います。

唐澤会長 ただいま、会長に選任されましたが、山というものは、最近、環境面など色々な多様な面で中心的な役割も大きいと思います。その中において、市内の林業関係者が、いかに快適に過ごせるような環境の山に育てていくかといった課題もありますので、皆様の忌憚のないご意見、ご要望等いただきながら、この協議会の運営にご協力いただければと思いますので、よろしく願いいたします。

唐木副会長 林業などまだ良くわからないことも多いのですが、頑張りますのでよろしくお願い致します。

平林部長 ありがとうございます。
なお、市長におきましては、所用によりこれで退席となりますので、よろしくお願い致します。
それでは、これより協議事項に入りますが、要綱第4条第2項により、会長が議長となります。唐澤会長よろしく願います。

唐澤議長 それでは協議事項に入らせていただきます。
(1)千曲市の森林について、千曲市森林整備計画の一部変更について、事務局より説明願います。

宮尾係長 **【資料に沿って説明】**

唐澤議長 長野地方事務所から補足説明等ありましたら願います。

地方事務所林務課 尾崎係長 地方事務所からの補足説明ということですが、事務局からの説明と重複する部分もありますが、市町村森林整備計画の一部変更について、里山集落周辺につきましては、山地災害の危険や土砂流出の防止、奥山などについては水源のかん養や飲料水の確保ということで、機能区分の高い森林が千曲市は大半を占めているのですが、そういった機能区分が高い森林については、国・県で有利な助成制度があるため、手入りが遅れている森林を後世に適正な管理をして引き継いでいくためには、国・県の補助を受けながら整備を進めていく必要があります。今まで、機能区分の網がかかっていなかった部分については、木材生産機能ということで、「その他森林」という区分になるのですが、それはなかなか有利な補助制度を受けることができなかったもので、機能区分を変更する

ことにより、今後は有利な補助制度を活用して適正な管理ができるということになりますので、ぜひともご承認をいただければと思います。以上です。

唐澤議長

一通り説明をいただきましたが、今までの山林の機能を、さらにそれぞれの林地の持つ働きがありますので、枠を広げて将来に向かって有利に進めていくためのものということですが、委員の皆さんから質問や意見がありましたらお願いいたします。

〇〇委員から何かご意見ありますか。

〇〇委員

それぞれ事務局、地方事務所より説明がありましたが、機能を上げることは非常に良いことだと思います。これからの千曲市の林業を考えると、そういった補助事業を活用した整備が進められるのであれば賛成です。

唐澤議長

つづきまして、〇〇委員にご意見をいただきたいと思います。

〇〇委員

先ほど説明があったように、これにより、国県の助成制度の有効活用をして山の整備を進めていくことは大変良いことだと思います。

唐澤議長

ありがとうございます。続きまして、〇〇委員よりご意見をいただきたいと思えます。

〇〇委員

この問題とは少し違うと思いますが、人が通らない林道などがあるのですが、倒木などがあり、チェーンソーを持っている場合などは良いのですが、誰でもできるわけではないので、そういったところの整備もお願いできればと思います。

唐澤議長

ありがとうございます。他に何かありますか。

〇〇委員

広葉樹と針葉樹の割合についてですが、少し前に北海道大学の苫小牧研究林の本を読んだのですが、従来の考え方を変えているようで、針葉樹だけの森には鳥がほとんどいません。広葉樹と針葉樹の割合をバランス良くすることが必要だと思います。

唐澤議長

施業の関係にもなるのですが、一番は山の針葉樹から広葉樹へ変えることは樹種転換ということになると思いますが、結論的には、6項目の機能分類の中でどうやって進めていくのかということになるかと思われます。まずは、機能を高めることにより、国や県の補助を導入しやすくなり、整備が図られると思えます。

他にご意見ございますか。

(声なし)

宮尾係長

事務局より〇〇委員さんのご質問にお答えいたします。おっしゃられたことは、いわゆる針広混交林のことと思いますが、千曲市では保健レクリエーション機能森林につきましては、そういった導入を図っております。先ほどの説明で、人工林の広葉樹は1%と申し上げましたが、天然林は7割が広葉樹となっております。面積的には人工林と天然林はほとんど同じであり、人工林は約3,455

ha、天然林は約3,170haですので、広葉樹もたくさんあります。特に、埴生から柏王・磯部あたりの東山の下の方はほとんどが広葉樹です。大池周辺についても、植樹祭では広葉樹を植え、バランスを考慮しております。

唐澤議長 他にご意見等ないようですので、千曲市森林整備計画の一部変更については、承認でよろしいでしょうか。

(全員拍手)

唐澤議長 それでは、千曲市森林整備計画の一部変更につきましては、拍手多数ということで承認をしたいと思えます。

それでは次に移ります。(2)千曲市の林業施策についてを議題といたします。事務局より説明をお願いします。

宮尾係長 【資料に沿って説明】

唐澤議長 ありがとうございます。各委員よりご質問ご意見等ございますか。

〇〇委員 現在非常に山が荒れており、林業従事者も足りない中ではありますが、これだけ立派な森林資源があるので、林業施策の中でそれほどうたわれていないのですが、地域材の活用をしっかり進めていただきたいと思えます。今後も、公共施設を建てる時には、ぜひ千曲市の立派な材を使っていたいただきたいと思えます。地域材の魅力を若い子ども達などの後世に残せるような施策を進めていただきたいと思えます。

それと、先ほどの説明にも、森のエネルギー事業があるのですが、あまり普及が進んでいないように思えます。ペレットボイラーやペレットストーブの普及についても、例えば庁舎内のどこかに設置して、木材の有効利用を市民の皆さんに、もっと広く知っていただけるような形にしていきたいと要望したいと思えます。

それから、松くい虫防除につきまして、松くい被害を食い止めるために、毎年これだけの予算をかけて防除しているわけですが、針葉樹だけが木ではないので、広葉樹への樹種転換などを進めていくとともに、切った木材のチップ化などの有効活用も踏まえながら進めていく必要もあるのではと思えます。

それと、後程説明があると思えますが、平成28年には、全国植樹祭が長野県で開催されるということですが、善光寺など長野県にも色々な名所があるわけですが、千曲市も市制10周年を迎えた中で、観光等の発展のためにも、景観整備をさらに進めていく必要があると思えます。

唐澤議長 〇〇委員より貴重なご意見をいただきましたが、私としても、材の活用が少ないと感じております。家を新築・リフォームする時には、柱一本でも床一坪でも地域材の利用が進むような施策を進めていただきたいと思えます。

それと、「協働の森づくり」とうたうのですが、山の資源は大切だと言いつつも、手入れなどに市民の参加が少ないということに、会長として責任も感じているところですが、木や水などの資源の大切さを、もっと行政とも協力して進めていく必要があると思えます。

その他何かありますか。

〇〇委員

個人有林についてですが、私は30何年前に嫁いできた年の5月に夫と夫の父に連れられて自分の家の山を教えてもらったのですが、今自分の家の山を知らない人が増えている気がします。子ども達に自分の山のことを教えていない家も多いと思います。農業もそうですが、自分の山を知っているか、その山をどうするのかについて意識調査をするなど、もう少し山に対しての意識を高めるようなことをできたらと思います。

唐澤議長

ありがとうございます。私も、集約化をする時などで感じますが、例えば50人くらいの所有者を集めると、自分の山をしっかりと知っている方は4~5名くらいと感じます。それだけ、山の価値がなくなっていることのあらわれなのかなと感じています。集約化などの時には、なるべく足を運んでもらって、現地での確認に立ち会ってもらうなど私も務めています。意識調査となると大変な作業になるかと思われませんが、この辺もまた、事務局の方で、意識を高めるようなPRなどをお考えいただければと思います。

その他ございますか。

〇〇委員

有害鳥獣対策についてお聞きしたいのですが、今年度農林課にお世話になりまして、イノシシの柵の選定や暫定の設置ルートなどが決まりまして、これから具体的に進めていくのですが、急傾斜地や岩盤など、素人では設置が困難な場所もあるのですが、そういった場所については、市でやっていただけるなどできないのでしょうか。

長浦課長

有害鳥獣の柵の設置につきましては、原則的には資材は市で用意して、手間は地元の皆様にやっていただくこととなります。ただ、今年も羽尾地区でもございましたが、どうしても業者でなければできないようなことがございましたら、都度相談いただければと思います。

唐澤議長

よろしいでしょうか。

〇〇委員

はい。

唐澤議長

その他何かありますか。

〇〇委員

先ほど、千曲市森林整備事業補助金の中で、平成25年度の予定が80haということですが、近ごろ、県道や林道などを通ると、森林税の活用により、かなり整備されている山を見受けられるようになってきてまして、本当にありがたいことだと思います。千曲市の資源を見ますと、これから15年間で約2,000haの森林が60年生を超えてくることになり、これらの森林を一度は間伐をするとすると、1年間で200haくらいずつ間伐をしていかないと足りないということになります。千曲市の市町村整備計画を見ますと、1年間に280haという目標となっておりますので、ぜひ、間伐の年間目標を200ha位にして進めていただければと思います。

また、先ほどの〇〇委員さんのおっしゃられた自分の山がわからなくなってしまったということは、木を植えた後、全く手を入れず、行ってみることもないためにわからなくなってしまったということですので、集約化事業などを進めていく中で、立ち会いなどをして、山を確認していただいて、施業をしていくということが大切ではないかなと思います。山へ出かけていくというきっかけにもなりますの

で、ぜひ森林整備をもっと進めていただきたいと思います。

それから、先ほどの〇〇委員の広葉樹についてですが、長野県でも森林づくり条例の中で、多様な森林整備を進めているところでして、今現在針葉樹が6、広葉樹は4くらいです。人工林ということで、スギ、ヒノキなどを一生懸命植えてきたので、針葉樹が多くなって適地適木を超えてしまっているのではないかとと言われております。今後、間伐などを進めるなかで、多様な森林整備ということで、針広混交林の割合を「針葉樹4」対「広葉樹6」くらいにしようと考えているところでございます。以上でございます。

唐澤議長

〇〇委員より、行政へ心強いお言葉をいただきました。私どもも集約化を進めていく中でも、できるだけ整備を進めていかななくてはと思います。他に何かございますか。

〇〇委員

千曲市へ今後集約化等進めていくに、その尾根沢の中にどれだけの所有者がいるのかがわからないと、境界の立会などで必要となってきますので、個人情報保護などあるかと思いますが、山の整備に関わる所有者の洗い出しの時などには、そういった情報を提供いただければ、立ち合いの際には、所有者に対し、こちらからも情報提供ができるようになるかと思いますが、ご協力よろしくお願いしたいと思います。

唐澤議長

ありがとうございました。他にございますか。

〇〇委員

先日、薪ストーブを使っている知り合いが、薪の情報を欲しいと話していたのですが、そういった情報はありますか。

唐澤議長

事務局の前に、千曲の森の立場から申し上げますと、薪があるから取りに来るよう話しても、山に取りに来ることは、あまりありません。運んでくれればというのですが、山は傾斜もあり、そこから材を搬出するためには、大変な部分があります。私たちは山の手入れが主な仕事になりますので、そこまではなかなか対応できません。本当は薪ストーブを買う時などに、しっかり考えて欲しいことだと思います。

〇〇委員

薪の販売ということであれば、森林組合にご相談いただければ、堅木の薪を販売できます。

また、間伐をしている時に、薪利用の相談があるのですが、千曲の森さんもそうですが、私たちは山の手入れは個人所有者の同意を得て集約化して間伐など行いますが、その木自体は所有者の物であり、所有者の了解がないと私たちの判断ではどうにもできません。

宮尾係長

続きまして、市有林についてですが、同じように間伐事業など行っておりますが、薪として利用する場合は、利用者も切る時期や乾燥の仕方や期間など色々お考えがあります。また、市有林や財産区有林について、間伐する場合、広葉樹はそれ程なく、カラマツなどの針葉樹が多いのですが、申請をいただければ、どこに間伐材があるかなどについて情報提供しますし、使用許可もしています。間伐材利用として多いのは、神社の松飾りやしめ縄づくりの材料として申請するものが多いです。お金などはいただいておりませんので、薪につきましても、傾斜のところが多いたすが、針葉樹で良ければ自分でチェーンソーな

ど使って、搬出などができるのであればご相談いただければと思います。

なお、市としても管理上、無断で切られたりしますと困りますので、積極的に広報しているわけではありません。それと、千曲建設事務所では、河川にあるアカシアなどの木などの伐採を許可していることもありますので、そういったものを利用するのが一番やりやすいのではないかと思います。

唐澤議長 よろしいでしょうか。

〇〇委員 はい。

唐澤議長 ありがとうございます。その他何かございますか。

(声なし)

唐澤議長 他になければ次に進めさせていただきます。

(3)千曲市における今後の松くい虫防除対策についてを協議いたします。
事務局より説明願います。

宮尾係長 【資料に沿って説明】

唐澤議長 事務局より説明がありましたが、長野地方事務所より補足説明がありましたら
願います。

地方事務所林務課 皆様のお手元にパンフレットがあると思いますが、「松くい虫からみんなでマツを守ろう」というものですが、1ページに松くい虫がどんなメカニズムなのかについて図示されております。今回初めてご出席する方もおられますので、少し説明させていただきます。松くい虫被害は、明治38年に日本の長崎に入りまして、現在は北海道を除く都府県で発生しております。国で研究したところ、原産は北アメリカと言われております。表の右側にありますが、体長1mmくらいの線虫が松の中に入り、松を急激に弱らせ、マツノマダラカミキリというカミキリムシが松の中に産卵します。マツノマダラカミキリの卵が羽化して松から脱出するときに、体に線虫を付けて他の松に伝播するというので、マツノマダラカミキリとマツノザイセンチュウの総合的なものを松くい虫と呼んでいます。

また、もう一つお配りした資料があると思いますが、その1ページに都道府県別の松くい虫の被害量の推移の表がありますが、平成20年頃には長野県が1番の被害量だったのですが、平成21年から鹿児島県が1番の被害量となりました。平成23年からは島根県が急激に増えました。島根県は、それまで行われておりました空中薬剤散布をやめて3年経っています。その後鹿児島県、長野県といった順番となっております。2ページ目には、全国の被害量を棒グラフで表しており、最近では60万㎡あたりで推移しております。3ページには長野県内の被害量の推移を表にしてあります。長野県には、昭和56年に初めて山口村で発生し、翌年には南木曾、長野市、千曲市で発生しました。現在は平成24年度末で、49市町村で発生しております。4ページに今年の被害量の状況ですが、平成24年度の被害量が過去最大となっており、64,741㎡となっております。今年はそのを上回る勢いで発生しています。長野県全体では、9月末現在で昨年比で134%となっております。長野地域で見ますと、前年度対比で152%であり、やはり去年より被害が拡大しているといった状況です。

これにつきましては、長野県林業総合センターでも見解がありますが、今年の被害については、昨年の夏の高温少雨が原因ということです。しかし、今年もかなり気温が高かったため、来年も心配される状況です。5ページは長野地域の市町村別の被害量を表しておりますが、長野市は横ばいですが、須坂市はかなり拡大しております。千曲市、坂城町などについても増加しております。6ページには、平成25年度の防除対策の方針が載っておりますが、先ほど事務局から説明もありました通り、松林健全化推進事業を中心に松くい虫の防除対策を行っております。推進事業としましては、被害状況の調査、分析等を行っておりますが、今まではフロートに水を張り下に落ちた線虫を顕微鏡で見ているのですが、昨年からDNA検査を行うようになりました。木くずなどを長野県林業研究センターへ送り、DNA分析を行うと、松くい虫によるものかどうかがわかるようになりました。予防事業につきましては、地上や空中の薬剤散布などの予防的な防除対策について書いてあります。駆除事業につきましては、被害木の伐倒駆除を中心とした、くん蒸、焼却、破砕などの処理を行う事業がございます。その他、保全松林健全化整備事業などといったところで、アカマツ以外への樹種転換や伐倒駆除などを国庫補助として行っております。7ページはそれらを予算的に表したものです。総額で松林健全化推進事業では約2億3千万円となっております。その他に保全松林健全化整備事業、松林保護樹林帯造成事業として、約4億4千800万円の予算を組んでおります。8ページについては、長野県下でそういった事業はどうなっているかについて記載してございます。平成24年度の実績については、4,400㎡の伐倒駆除、特別防除・地上薬剤散布として191haを行うなど、事業的には約1億1千万円でございます。平成25年度の事業計画としては、現在も色々対策を実施しているところですが、計画としましては表の通りとなっております。9ページには、松枯れの他にもナラ枯れ被害というものがございまして、カシノナガキクイムシによるミズナラなどの広葉樹の被害についてですが、現在、全国的には、表に書いてある通り、減少しつつあるということです。10ページには長野県のナラ枯れ被害の推移についてですが、平成25年度につきましては、8月現在では去年よりも1/3程度に減っているということでございますが、市町村としましては、大桑村が新たに発生が確認されたということです。松くい虫に比べ、ナラ枯れの対策につきましては、国の予算がなかなかつかないこともございまして、予算的には250万円程でございますが、これで全県下での対応となります。以上です。

唐澤議長

補足説明いただきありがとうございます。委員の皆さんからご質問ご意見がありましたらお願いいたします。

〇〇委員

毎年更級地区で、何箇所か空中薬剤散布をしていただいておりますが、その地域でも結局松枯れが出ています。空中散布をやるとどの程度被害が抑えられているのかどうか、わかるのか、無駄な散布ではないのかとも思っているのですが、それについてご見解をお聞きしたいと思います。

宮尾係長

薬剤散布の効果についてでございますが、千曲市でも30年近く前から散布をしてきております。散布している個所につきましては、一部飛び込み等による枯れはありますが、散布していない他の地区のような、かたまって全て枯れてしまっているといったことはなく、松は守られておりますので、効果はあるということが言えると思います。先ほど地方事務所からも説明がありましたが、島根県などで、やめて3年ほどして被害が拡大したり、坂城町でもやめてから2年ほどでか

なり被害が拡大し、昨年から再開しております。そういったことから、今までずっと守ってきたものが、1回やめてしまうと虫が入ってくる可能性が高く、そこで枯れてしまうとそこで終わってしまう。今までも神奈川県や島根県などでやめたことによって一気に被害が拡大したという事例もございますので、効果は充分にあると考えております。また、空中散布に代わる何かあればというご意見もございますが、現状では急傾斜地などでは治山事業も併せて実施しておりますが、より適切な対策が講じられれば良いのですが、地元の方からの不安の声もありますので、しっかり対策が講じられるまでは、なかなかやめることは難しいのかなと考えております。

唐澤議長 ありがとうございます。他に何かございますか。

(声なし)

唐澤議長 特にご意見・ご質問等ないようですが、平成26年度の薬剤散布の実施につきましては、次回の協議会もありますので、その中でも議題としますので、ご意見等お聞かせできればと思います。

以上で、協議を終了いたしますので、ここで、正副議長を降ろさせていただきます。ご協力ありがとうございました。

長浦課長 唐澤会長、ありがとうございました。

続きまして、6.その他についてでございますが、こちらにつきましては、事務局で進行を務めさせていただきます。初めに長野地方事務所林務課様よりお願いいたします。

地方事務所林務課 地方事務所より2点ほど情報提供ということでお知らせさせていただきます。

尾崎係長 皆様のお手元に、資料1「信州山の日(仮称)の制定について」というものをお配りしましたが、新聞・報道等すでにご承知かと思いますが、現在、「信州山の日」の制定に向けて県で検討しているところでございます。長野県民の共通財産である山に感謝し、山の恵みを将来にわたって持続的に享受していくために、山を守りながら育てていく気運を醸成する機会として、「信州山の日」を平成26年に制定したいということです。長野県の約8割が森林でございまして、非常に山との関わりが強いのですが、他の県でもすでに「山の日」が制定されているところもございまして、名前は「森の日」など色々ございますが、26都道府県で実施されております。長野県では、平成25年の2月の県議会で長野県総合5カ年計画の柱の一つでもある山岳観光の振興を積極的に進める必要があるのではというご意見がありまして、知事も山の日に向けて進めていく旨答弁したところでございます。長野県の山の日につきましましては、7月の第4日曜日ということで予定しております。名称につきましましては、「信州山の日」という名称になろうかと思っております。これにつきましては、今年度より検討委員会の設置や県民皆様のアンケートなどをいただきながら日程や中身について検討していくところでございます。平成26年度に入りましたら正式に決定されると思っておりますので、その際には色々なイベント等取り組みを行ってまいりますのでご協力をお願いしたいと思います。

資料2につきましまして、「第67回全国植樹祭の開催決定について」ということで、長野県におきまして、平成25年8月9日に全国組織の国土緑化推進機構の理事会で、長野県で平成28年の春に全国植樹祭の開催が決定されまし

た。全国植樹祭は、以前蓼科で開催された経過がございますが、今回2回目の実施となるわけですが、9月12日には県の実行委員会を設立しまして、実行に向けて動き出したところでございます。資料には、実行委員会のメンバーや組織等について記載してございますので、ご覧いただきたいと思います。

現在は基本構想を検討しているところでございます。基本構想検討委員会を設置しまして、どこでどんな内容で、どんな理念で実施するかについて検討しているところでございまして、来年1月20日に第2回実行委員会を開催し、そこで基本構想が決まります。平成26年度には、もっと具体的な基本計画を策定し、平成27年度に実行本部を立ち上げて準備を進め、平成28年の春に開催する予定となっております。開催場所などの詳細については、1月20日の実行委員会で決定されると思いますので、それを受けて、皆様にも情報を提供していきたいと思っております。実行に向けて、色々な面で皆様にご協力等をお願いすることもあるかと思っておりますので、よろしくお願ひいたします。以上です。

長浦課長 ありがとうございます。続きまして、事務局より、千曲市特定間伐等促進計画についてご報告をさせていただきます。

事務局 **【資料に沿って報告】**

長浦課長 以上で事務局からの報告は終わりました。その他事項として、委員さんより何かございますでしょうか。

〇〇委員 全国植樹祭を千曲市でということはどうでしょうか。

地方事務所林務課
尾崎係長 その辺につきましては、基本構想検討委員会で進めているところでございますが、現時点では何とも言えません。

〇〇委員 私は、スギの花粉症なのですが、スギの木を減らすようなことはやっているのでしょうか。

地方事務所林務課
尾崎係長 戦後の拡大造林により、全国で杉を植えだして、杉の面積というのはものすごく広い状況となっております。長野県でも杉の面積は非常に多くあるのですが、やはり花粉症などは問題となってきております。長野県では花粉の少ない小花粉杉の普及を進めています。須坂市の米子に県の苗畑があり、そこで、小花粉スギを植えて、やっとなり種子が取れるようになりましたので、まだ少し時間はかかるかと思いますが、それを増やして、造林していく時には小花粉スギをできるだけ植えていただくように進めているところでございます。他の都道府県でも問題となっており、小花粉スギ・無花粉スギに取り組んでいるところでございます。長野県としても取り組んでいるところでございますので、よろしくお願ひいたします。

長浦課長 花粉症は、人によっては本当に深刻な問題であると思っております。まずは、花粉情報などの活用もしながら対応していくこととなると思っております。また、できるだけ、杉を材として活用したいわけですが、なかなか材の価格が上がらないということもございまして、国・県の補助金などを活用しながら市としましても地元材の活用なども検討していきたいと思っております。

他に何かございましたらお願ひいたします。

(声なし)

長浦課長

その他不いようですので、以上で本日の日程は終了させていただきます。
本日は長時間にわたりご協議をいただき有難うございました。
(16:00終了)